

原発をなくす全国連絡会 ニュース



原発をなくす全国連絡会

〒113-8465東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F

E-mail: no-nukes@min-iren.gr.jp

HP: <https://www.no-genpatu.jp>



原発をなくす全国連絡会

原発をなくす全国連絡会第11回総会を開催しました

原発をなくす全国連絡会は、1月25日に総会を開催しました。総会では、原発をなくす取り組みとその到達点を振り返り、今後の1年間で原発推進の方針を大転換した政府とのたたかひの正念場であると思いつつしました。

連帯挨拶で、コープふくしま県本部長の穴戸義広さんは、政府・東電はALPS処理水海洋放出の理解醸成としてCMが流されているが、その内容は不都合な事実を隠し、クリーンなイメージを前面にアピールする現代版第二の安全神話づくりであり、関係者や国民の理解とはほど遠いものだとして批判しました。

国会情勢報告で日本共産党の笠井亮衆議院議員は、原発事故がまだ収束していないなかでの原発回帰の大転換は、国民の原発ゼロの思いを踏みにじるもので、大きな世論と運動で原発ゼロの力を大きくしていかなければならないと話されました。

討論で、農民連の渡辺信嗣さんは、原発事故以降、被害賠償を求めて政府・東電への要請行動を続けてきたが、その根本には、もう二度と原発事故を起こしてほしくないという思いがある、子どもたちに安心な未来を手渡せるように運動を続けていくと強い決意を話されました。

続いて、原住連から伊東達也さんが発言されました。伊東さんは福島から東京の会場まで足を運んでくださいました。伊東さんは、運転延長も再稼働も新增設も言語道断、原発はクリーンでもグリーンでもないことを福島原発事故が明らかにした。いま原発推進をゆるせば、また日本で原発事故が繰り返されることになる。そうならないためにノーモアフクシマを大いに語っていく必要があると訴えました。

そのほか、福島からの特別報告では、ふくしま復興共同センターの斎藤さん、討論では、全商連の中山さん・科学者会議の井原さん・福井の林さん・大阪の中村さん・鹿児島井上さんからそれぞれご発言をいただきました。ありがとうございました。

原発推進政策にNOをつきつける取り組みにご協力ください

①岸田政権の新・原発推進政策の撤回を求める全国署名

2024年1月までに100万筆を目標にして取り組みます。各地・各団体で取り組みをすすめ、原発NOの国民の意思をつきつけましょう！

②「岸田政権の原発推進政策反対！ 原発事故処理水(ALPS処理水)の海洋放出を許すな！ 原発ゼロ集中WEEK」

3月4日～19日を、原発ゼロ集中WEEKとして、「原発再稼働反対」「福島の切り捨てを許すな」「ALPS処理水の海洋放出反対」などのとりくみを全国各地で展開することを呼びかけます。統一地方選挙の争点に、原発ゼロ・再稼働反対・老朽原発の運転延長問題・ALPS処理水海洋放出問題などを押し上げるうえでも重要です。

③福島を忘れない 原発推進をゆるすな 3.4原発ゼロ集会

4年ぶりの原発ゼロ集会を開催します。感染対策をしながら多くのご参加をお待ちしています！

【日時】3月4日(土) 13:15-14:15 (パレード: 14:30-16:00)

【場所】日比谷野外音楽堂

